

輸入乾牧草の輸入・価格動向

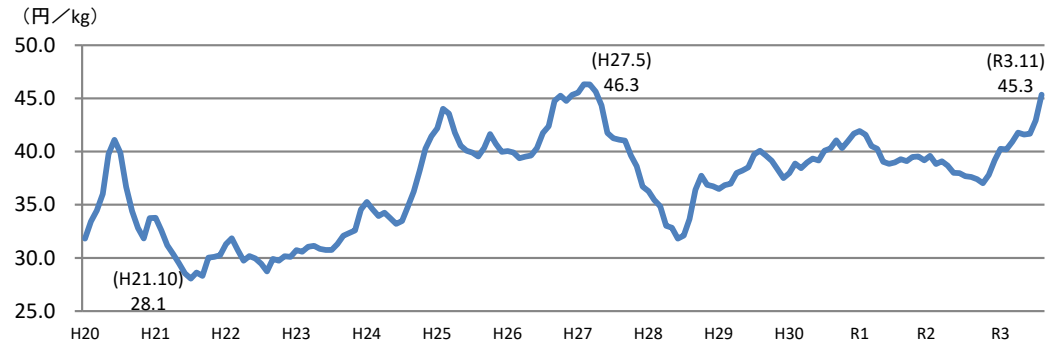
- ・ 乾牧草の輸入量は、年間180万～200万吨程度で推移。輸入先については、米国が7割、豪州が2割、カナダが1割弱と輸入量のほとんどを3カ国で占めている。
- ・ 乾牧草の輸入価格(通関価格)は、直近では、45.3円/kg(令和3年11月現在)となっている。
- ・ 新型コロナの影響で滞船やコンテナ不足が生じ、コンテナ船の運航が乱れている状況が続いている。

乾牧草の国別輸入量の推移

上段: 輸入量(千トン)
下段: 輸入シェア(%)

年度	米国	豪州	カナダ	その他	うちロシア	合計 (前年比)
H24	1,635 (75.2)	353 (16.3)	169 (7.8)	16 (0.7)		2,175 (110%)
H25	1,441 (73.7)	363 (18.6)	133 (6.8)	18 (0.9)		1,955 (90%)
H26	1,319 (72.2)	369 (20.2)	128 (7.0)	11 (0.6)		1,827 (93%)
H27	1,318 (71.9)	380 (20.7)	108 (5.9)	28 (1.5)		1,834 (100%)
H28	1,364 (73.1)	367 (19.6)	106 (5.7)	29 (1.6)		1,866 (102%)
H29	1,362 (70.3)	400 (20.6)	142 (7.3)	34 (1.8)	0.05 (0.0)	1,938 (104%)
H30	1,394 (68.3)	455 (22.3)	146 (7.2)	44 (2.2)	2.85 (0.1)	2,039 (105%)
R1	1,440 (71.3)	403 (19.9)	130 (6.4)	48 (2.4)		2,021 (99%)
R2 (確報値)	1,413 (69.8)	402 (19.9)	156 (7.7)	54 (2.7)	0.05 (0.0)	2,026 (100%)
R3 (4月～11月) (速報値)	899 (65.7)	301 (22.0)	132 (9.6)	36 (2.7)		1,369 (101%)

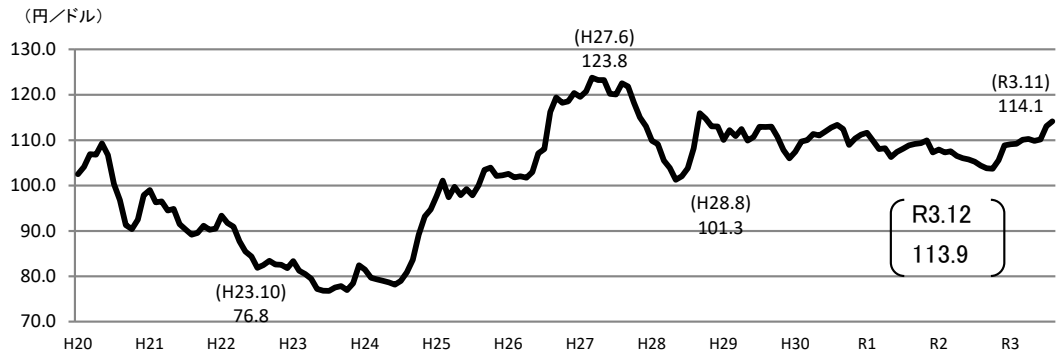
乾牧草の輸入価格(通関価格)



資料: 財務省「貿易統計」

注: ペレット・ミール・キューブは除く。

為替相場の推移



資料: 日銀為替相場 東京市場 ドル・円スポット 中心相場/月中平均

◆国別輸入量推移

米国

単位：トン

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2020年	120,796	113,707	118,795	158,017	131,808	134,690	126,069	100,810	97,909	105,302	118,277	112,916	1,439,097
2021年	86,017	112,103	144,577	165,505	146,110	132,000	100,859	88,706	97,194	87,212	89,184	93,881	1,343,348
前年比	71%	99%	122%	105%	111%	98%	80%	88%	99%	83%	75%	83%	93%
2019年比	69%	96%	115%	134%	105%	110%	72%	79%	93%	82%	72%	74%	92%

豪州

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2020年	35,489	32,948	38,100	37,166	34,213	33,604	39,617	28,272	24,036	27,732	27,013	40,703	398,893
2021年	31,387	33,659	45,753	41,772	48,331	41,788	33,836	28,400	33,085	36,911	39,427	44,573	458,923
前年比	88%	102%	120%	112%	141%	124%	85%	100%	138%	133%	146%	110%	115%
2019年比	80%	98%	112%	119%	116%	125%	93%	111%	109%	124%	125%	131%	111%

カナダ

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2020年	8,780	7,484	11,777	12,825	13,481	12,897	10,708	9,001	9,595	11,428	13,447	12,237	133,660
2021年	10,844	13,105	17,264	19,084	16,291	16,552	13,124	11,497	14,500	12,615	18,314	8,269	171,461
前年比	124%	175%	147%	149%	121%	128%	123%	128%	151%	110%	136%	68%	128%
2019年比	111%	137%	135%	173%	130%	168%	116%	155%	164%	146%	188%	74%	140%

その他

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2020年	239	775	885	957	731	1,304	1,499	1,056	1,231	1,108	875	1,114	11,773
2021年	1,063	1,000	819	1,416	1,357	1,117	1,465	1,110	1,326	1,360	1,207	1,358	14,599
前年比	444%	129%	92%	148%	186%	86%	98%	105%	108%	123%	138%	122%	124%
2019年比	342%	244%	173%	384%	490%	273%	262%	202%	207%	272%	245%	271%	266%

合計

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2020年	165,304	154,914	169,557	208,965	180,233	182,495	177,894	139,139	132,771	145,570	159,612	166,969	1,983,424
2021年	129,312	159,868	208,412	227,777	212,090	191,457	149,284	129,713	146,104	138,100	148,133	148,081	1,988,331
前年比	78%	103%	123%	109%	118%	105%	84%	93%	110%	95%	93%	89%	100%
2019年比	74%	99%	116%	134%	110%	117%	79%	89%	101%	95%	89%	86%	99%

参考：植物検疫統計

※植物検疫統計の週間数量は日曜日から土曜日を1週間とし、基本2週前の情報が月曜日午前0時～2時までに更新される（月の第1週及び最終週は7日に満たないことがある）

乾牧草の輸入量推移

(植物検疫統計)

トン

250,000

200,000

150,000

100,000

50,000

0

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

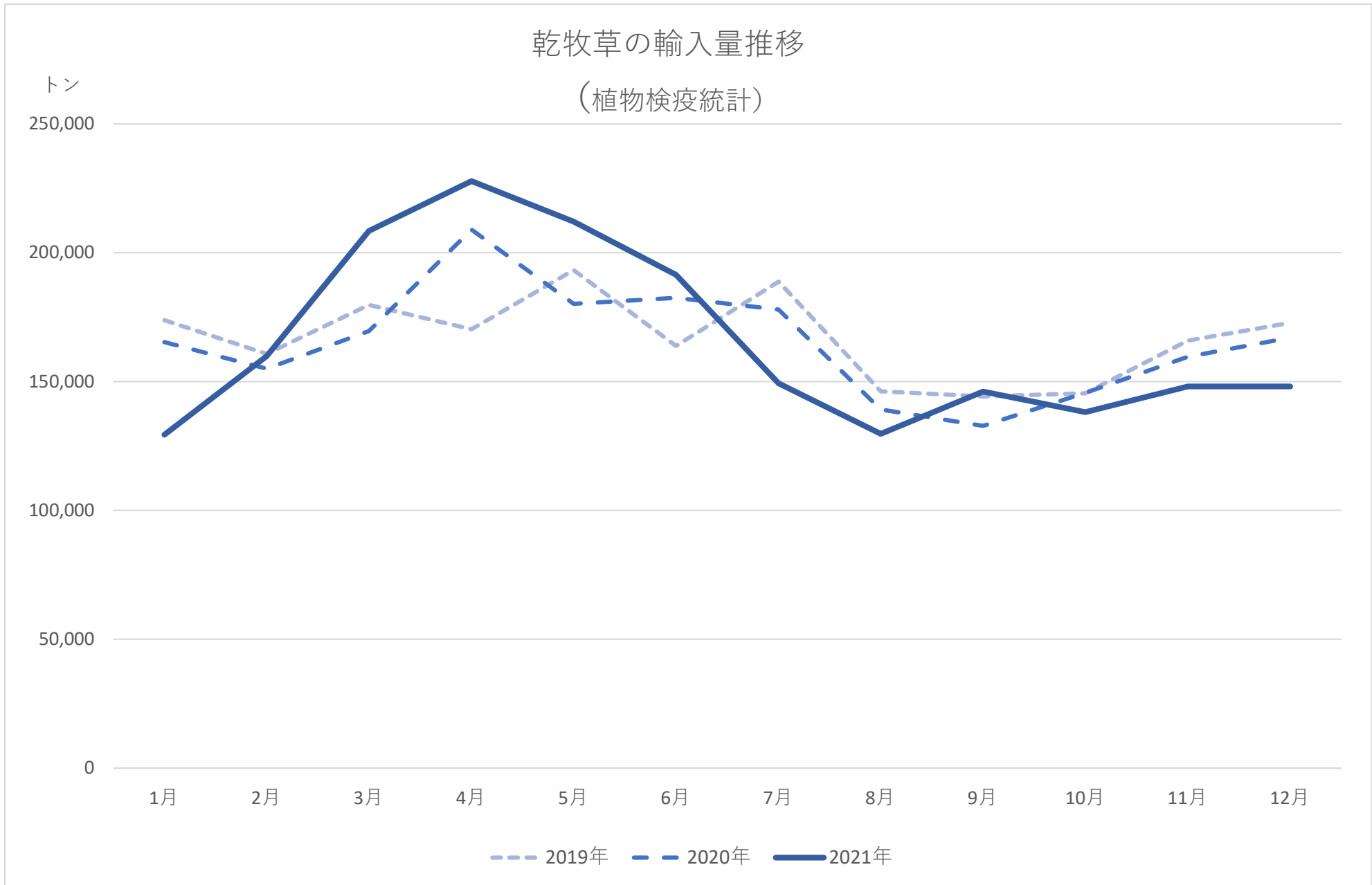
11月

12月

--- 2019年

--- 2020年

— 2021年



国産稲わらをめぐる状況

- 稲わらは、国内生産量の1割弱に相当する約70万トンが飼料利用されているものの、約20万トンを中国から輸入。
- 稲わらの収集に必要な機械の導入や調製・保管施設の整備に対する支援等やマッチングの取組等により国産稲わらの利用の拡大を推進。

【R3年度補正】 畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業

畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体(畜産農家、飼料生産組織等)に対し、国産稲わらの収集に必要な機械の導入等を支援。(補助率:1/2以内)

【R4年度(概算決定)】 強い農業づくり総合支援交付金

国産稲わら等国産粗飼料の調製・保管施設の整備等を支援。(補助率:1/2以内)

【R4年度(概算決定)】 畜産生産力・生産体制強化対策事業

(国産飼料資源生産利用拡大対策のうち未利用資源活用対策)

稲わら等の未利用資源の飼料化に必要な調製・分析、給与実証、器具・機材の導入等の取組を支援。(補助率:1/2以内、定額)

(飼料生産利用体系高効率化対策のうち飼料生産組織強化対策)

稲わらの収集に必要な機械や保管場所の確保の取組等を支援。(補助率:1/2以内、定額)

○ 国産稲わらのマッチングの取組

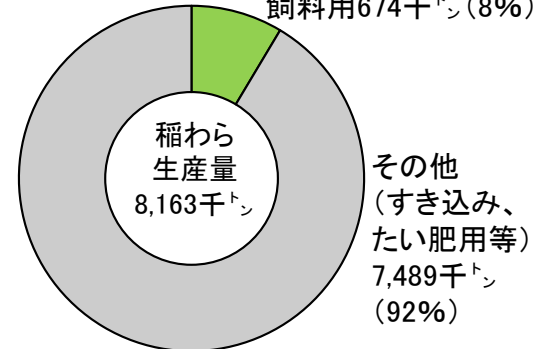
ウェブサイトのアドレス
https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryoinawara.html

○ 中国からの稲わらの輸入量と通関価格

	輸入量(千トン)	通関価格(円/kg)
29年度	209	32.3
30年度	237	29.7
R元年度	219	28.6
2年度 (確報値)	237	33.8
3年度 4月～11月 (速報値)	146	37.5

資料:財務省「貿易統計」

○ 国産稲わらの利用状況 (令和元年度)



資料:飼料課調べ
(水稲の作付面積等から推計)

○ 国産稲わらの需給状況 (単位:千トン)

区分	飼料仕向量①	輸入量②	飼料需要量③=①+②	自給率①/③
H27年産	784	157	941	83%
H28年産	751	186	937	80%
H29年産	729	223	952	77%
H30年産	691	232	923	75%
R元年度	674	229	903	75%

資料:飼料仕向量は飼料課調べ(29年産から調査方法を変更)、輸入量は財務省「貿易統計」(10月～翌年9月までの合計)

○ 稲わらの乾燥利用以外の活用 (生稲わらサイレージの例)

< 特徴 >
 ・天候の影響を受けずに調製が可能
 ・β-カロテン(ビタミンA)、ビタミンEの含有量が乾燥稲わらよりも多い(肥育中期の給与に注意)
 ・乾燥稲わらに比べ嗜好性も良い

< 留意点 >
 ・ロール成形時に乳酸菌を添加し、ラッピングすること
 ・開封後は、2日以内で使い切ること

中国産稻わら等の輸入数量

単位：トン

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
2020年	20,137	6,604	24,399	23,742	17,346	16,814	18,524	20,883	18,569	19,952	20,465	17,454	224,891
2021年	14,263	24,077	32,619	17,812	16,529	18,451	17,154	18,594	17,569	20,156	24,436	19,929	241,590
前年比	71%	365%	134%	75%	95%	110%	93%	89%	95%	101%	119%	114%	107%
2019年比	60%	148%	194%	95%	90%	122%	102%	110%	86%	89%	110%	92%	105%

出典：植物検疫統計

※植物検疫統計の週間数量は日曜日から土曜日を1週間とし、基本2週前の情報が月曜日午前0時～2時までに更新される

(月の第1週及び最終週は7日に満たないことがある)

中国産稻わらの輸入量推移
(植物検疫統計)

トン

35,000

30,000

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

0

1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

--- 2018年 - - - 2019年 - - - 2020年 ——— 2021年

